○「酒類保存のため酒類に混和することができる物品」の取扱いについて(法令解釈通達)・新旧対照表(案)

(注) 表中の傍線部分は改正部分である。

コム -	_	181
改	ıĿ.	後

○「酒類保存のため酒類に混和することができる物品」の取扱いについて (中略)

別表1 長官指定告示物品の使用目的の細目と定義

細目	定義	長官指定告示物品名
清澄	(省略)	(省略)
酸化防止	(省略)	(省略)
酒質 保全	(省略)	(省略)
再発酵 防止	(省略)	(省略)
酸度調整	酒類の製造又は精製工程において、 正常な酸度の範囲に調整して品質の 維持を図ることをいう。	炭酸カルシウム、炭酸カリウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸ナトリウム、炭酸ナトリウム、アンモニア、L-酒石酸カリウム、炭酸水素カリウム、リン酸又は乳酸
酒質 矯正	(省略)	(省略)
副剤	(省略)	(省略)
(以下略)		

改正前

○「酒類保存のため酒類に混和することができる物品」の取扱いについて (同左)

別表1 長官指定告示物品の使用目的の細目と定義

120 1		
細目	定義	長官指定告示物品名
清澄	(同左)	(同左)
酸化防止	(同左)	(同左)
酒質 保全	(同左)	(同左)
再発酵 防止	(同左)	(同左)
酸度調整	酒類の製造又は精製工程において、 正常な酸度の範囲に調整して品質の 維持を図ることをいう。	炭酸カルシウム、炭酸カリウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸ナトリウム、 ンモニア、 L ー酒石酸カリウム 又に 炭酸水素カリウム
酒質 矯正	(同左)	(同左)
副剤	(同左)	(同左)
(同左)	1	1